

剥離紙用シリコーン（付加型・中剥離用）

TPR6710

TPR6710は付加溶剤型剥離紙用シリコーンで、中剥離タイプです。触媒にはCM670を用い、本体：触媒＝100：1（重量部）が標準処方です。

特長

- 各種粘着剤に対して中剥離力を示します。
- シリコーンの移行が少なく、高残留接着率を示します。

用途

- 各種粘着テープの背面処理
- 各種壁紙、ラベルなどの剥離紙
- 各種剥離フィルム
- 紙、繊維などの撥水処理

一般物性

項目		特性値
外観		無色透明
不揮発分	%	30
粘度	Pa・s {cP}	15 {15,000}
比重（25℃）		0.90
含有溶剤		トルエン

剥離特性例

項目			特性値
剥離力	(0.3m/min)	N/5m {gf/5cm}	78 {80}
	(60m/min)	N/2.5m {gf/2.5cm}	181 {185}
	(100m/min)	N/2.5m {gf/2.5cm}	255 {260}
残留接着率	%		99
硬化性（90℃）	s		15

（当社標準試験法による測定値）

試験条件概要

- 剥離紙の調製
 - 基材：ポリエチレンラミネート紙（75g/m²）
 - シリコーン塗工量：0.8g/m² (dry)
 - 硬化条件：140℃ 30秒

剥離力評価

剥離紙養生：シリコーン硬化後25℃ 50%RH下 1 日

粘着剤：溶剤型アクリル系粘着剤BPS8170（東洋インキ製造製）

粘着塗工厚：5mil wet

乾燥：100℃ 3分

貼合紙：上質紙（65g/m²）

粘着紙養生：25℃ 50%RH下 1 日

残留接着率

測定テープ：ニットー31Bテープ（日東電工製）

養生条件：20g/cm²荷重下70℃ 20時間

硬化性

設定温度におけるスミア・ラブオフのなくなるまでの秒数

使用方法

TPR6710はトルエンあるいはヘキサンなどの希釈溶剤で所望の濃度に希釈溶解した後、触媒を添加混合します。

処理液配合例（シリコーン分5%の場合）

材料	（重量部）
TPR6710	100
トルエン	499
CM670	1
計	600

使用上の注意

- 本品は付加反応型シリコーンです。処理液には触媒毒となるようなアミン、イオウ、有機スズなどの物質の混入がないように注意してください。
- 酸・アルカリと反応して分解して、水素ガスが発生しますので、接触させないようにしてください。
- 取扱時には、保護眼鏡および必要に応じて保護手袋を着用してください。
- 引火性があるため、火気のないところで取り扱ってください。
- 局所排気装置を運転し、換気をよくして作業してください。
- 直射日光を避け、湿気の少ない冷暗所に保管してください。
- 子供の手の届かない所に保管してください。

荷 姿

TPR6710 18kg ペール缶
CM670 180g ガラスビン (1ケース20P)

消 防 法

TPR6710	CM670
危険物第4類第1石油類該当	

発行：2000年10月 TPR6710 J

・本製品は、一般工業用途向けに開発・製造されたものです。医療用その他特殊用途に使用される場合は、貴社にてその安全性を事前にご試験ご確認のうえご使用ください。なお、体内に埋植、注入する用途、または体内に一部が残留するおそれのある用途には絶対に使用しないでください。

・記載のデータは、弊社の試験方法による実測値の一例で、規格値ではありません。ご使用に際しては、貴社使用条件に適合するか必ずご確認願います。なお、本文中の用途は、いかなる特許にも抵触しないことを保証するものではありません。

・製品改良のため、予告なく内容を変更する場合があります。

・安全性に関する詳細な情報につきましては、製品安全データシート(MSDS)をご参照ください。

・本資料を転載される場合は、弊社までご連絡ください。

・仕様書を要求される場合は、営業を通してお求めください。



モメンティブ・パフォーマンス・マテリアルズ・ジャパン合同会社
<http://www.momentive.jp>

テクニカルアンサーセンター
東京本社(営業) TEL.0276-20-6182, 0120-975-400 FAX.0276-31-6259
大阪支店 TEL.03-5544-3111(代) FAX.03-5544-3122
名古屋支店 TEL.06-6251-6272(代) FAX.06-252-8255
九州営業所 TEL.052-962-5731(代) FAX.052-962-5750
TEL.092-291-2056(代) FAX.092-262-1411